

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
・経年による施設の老朽化

(8)改善実績（過去3年間の実績）
・各種修繕

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<p>① 前年度と同じく、そのまま継続する。</p> <p>2. 見直して継続（業務の拡大）</p> <p>3. 見直して継続（業務の縮小）</p> <p>4. 見直して継続（方法の改善）</p> <p>5. 見直して継続（他業務と統合）</p> <p>6. 廃止する。</p> <p>7. 休止する。</p>
評価理由	例年20,000人程度の利用があるため、施設の修繕等を行いつつ、継続して実施する。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
老朽化が進む施設を適切に維持・修繕しながら町民の利用に供する。